「第56回体育祭　「～返り梅雨！？　試行錯誤の　体育祭～」 北高体育科

梅雨の時期を思わせるような連日の雨・・・体育館でのプロムナードや予行練習。大会当日の雨。早朝からグラウンドで職員・生徒が全力で会場設営を行った。第５６回体育祭は生徒の安全面を考慮するプログラムで実施した。そのような中、徒競走やリレー種目、北高伝統の演技など、実施した全てのプログラムにおいて北高生らしい気迫あふれる姿を保護者や地域の方々、北高同窓会に披露することができた。閉会式で行われたＰＴＡ会長の万歳三唱により、会場が一つとなり、令和初の体育祭として、歴史の１ページに刻まれた。

３年生の仮装パフォーマンスでは、仮装責任者を中心に５分間という短い時間の中で、各クラスがオリジナルのストーリーを考え、工夫を凝らしたパフォーマンスを披露した。また、北高伝統のプロムナードでは、　中道直樹さんの指揮のもと堂々と行進し、今年は新たに「令和」の文字をつくった。２年生では、小泉翔和さんを中心に栂の木応援団を１・２年生男子で結成し、北高祭の成功祈願と北高応援歌の継承を目的とした応援を披露した。北高コッコデショでは、短い練習期間にも関わらず、総指揮者として永山航さんを中心に伝統芸能を引き継ぎ、今後に繋げていきたいという思いを胸に一体感のある演技を見せた。北高ソーランでは、松尾麻由さんが１・２年生女子をまとめ、元気のある踊りを披露した。

今年の北高祭のテーマ『ルーズリーフ～破れ常識、描け未来～』のもと生徒一人ひとりが自ら考えて動き、一体感のある体育祭となった。これまでの常識にとらわれず、体育祭が成功するという未来を描き続けて試行錯誤した過程がルーズリーフに刻まれた。この経験を糧に来年度の北高祭に向けて、生徒全員でさらなる新しい北高祭を創りたいという思いを繋いでいきたい。

＜団長から一言＞

赤団　飛永 哲孝（３－３）

「新」というスローガンのもと取り組んだ令和初の体育祭。赤団が優勝を掴み取ることができました。私が団長になった当初から赤団のみんなとは学年、性別を問わずコミュニケーションをとり、友好を深めるという思いがありました。また［楽しんだもの勝ち］という言葉があるように、全員で楽しむことができれば必ず結果はついてくると信じていました。

当初は悪天候で出場種目が少なくなったり出場が無い生徒もいましたが、それでも同じ団の仲間が精いっぱい頑張っている姿を懸命に応援する姿がありました。それは団別練習などで深めることができた絆の現れだと確信しています。

赤団のみんなと優勝と感動を分かち合うことができて幸せです。本当にありがとうございました。

黄団　轟　理人（３－６）

黄団はとてもノリが良くて、盛り上がるときには全員で盛り上がる、明るく元気な団でした。

団別練習では、入場行進と騎馬戦や川下り、棒倒しなどの学年種目の練習を中心に行ってきました。しかし、本番では悪天候の影響により、練習の成果を発揮することができなかったことが少し残念でした。

総合優勝を勝ち取ることはできませんでしたが、黄団のために全力で戦い、応援をする皆さんを見て、とても感動しました。未熟者である私に最後までついてきてくれた団員と、サポートしてくれた体育委員や副団長の２人に感謝しています。ありがとうございました。私は黄団の団長を務めることができてとても幸せでした。最後の体育祭を素晴らしい思い出にすることができました。本当にありがとうございました。

青団　桑﨑 雅人（３－２）

青団はメリハリに長けた素晴らしい団でした。悔しくも本番で行進をお見せすることができませんでしたが、スイッチの入ったときの青団の行進は1年生から3年生まで全員、動きがそろっており、赤団、黄団よりも素晴らしい行進に違いありません。結果としては、総合優勝することができませんでしたが、チームワーク、まとまりを象徴した素晴らしい、最高の青団でした。

団長として、改めて全員で応援することの大切さ、一致団結することの強さといったものを感じることができました。260人という多人数をまとめるといったことは経験がなく、始めは不安がたくさんありました。しかし、２人の副団長をはじめとした皆さんの協力のおかげで、無事、団長という役目を全うし、貴重な体験をすることができました。青団の皆さん、本当にありがとうございました。

TO BE WELL BALANCED
～両道顕揚～　高い理想をかかげる

文化祭　「ルーズリーフ」

生徒会指導部　森山 裕之

「ルーズリーフ　～　破れ常識、描け未来」のテーマで始まった今年の文化祭。オープニングでは校長が自らギターを持って「ルーズリーフ」を弾き語った後、放送部の発表、オープニングビデオと続き、盛り上がりました。

自由見学時間では、２年生の教室劇や展示が行われました。ステージでは、有志によるダンスやバンドの発表があり、会場は沸きました。ピロティでは、３年生による食物バザーが盛況で、早々に売り切れになるものもありました。また、実行委員会企画として行われた３年クラスTシャツ展示会や未成年の主張も盛り上がりました。

午後の全員鑑賞の時間では、音楽選択者による「西海讃歌」の合唱に始まり、その後オーケストラ部の演奏と続きました。今や北高文化祭の定番曲となった「ウルトラソウル」では生徒総立ちとなって盛り上がりました。エンディングでは、北高祭大賞が発表され、みんなで校歌を歌って幕を閉じました。

保護者はもとより、オープンスクールに参加した中学生や地域の方々にもたくさんご観覧いただき、ありがとうございました。

＜文化祭実行委員会委員長から一言＞

吉田 惟平　（２－５）

今年は、新元号令和に変わり最初の文化祭となりました。「ルーズリーフ～破れ常識・描け未来」のテーマのもと、生徒一人ひとりの中にある常識を打ち破り、例年とは一味違う文化祭をみんなと描き創り上げました。

校長先生による美しい歌声で幕を開け、2年生による教室劇、1年生による出し物に加えて、去年実行することのできなかった未成年の主張など、さまざまな取り組みにチャレンジしたことで最高に弾けた文化祭にすることができました。そして、新たな歴史の1ページとして、私たちの思い出に一生残るものにできました。進化し続けるこの伝統ある文化祭を来年も楽しみにしてください。

文化祭を創り上げた皆さん、観覧してくださった皆さん、ありがとうございました。

北高祭表彰一覧

＜体育祭＞

◎総合の部

１位　赤団　２位　青団　３位　黄団

◎仮装パフォーマンスの部（３年生）

パフォーマンス賞　２組　　アイデア賞　１組　　チームワーク賞　８組

◎学級対抗リレー

１年：男子	１位２組	２位６組	女子	１位２組	２位６組
２年：男子	１位４組	２位３組	女子	１位５組	２位４組
３年：男子	１位３組	２位８組	女子	１位３組	２位８組

＜文化祭＞

◎ポスター部門	最優秀賞	競技かるた部	優秀賞	オーケストラ部
◎１年生部門	最優秀賞	２組	優秀賞	５組
◎２年生部門	最優秀賞	３組	優秀賞	４組

県内就職講演会（３年）

３学年主任　白石 洋一郎

９月１０日（火）、県内就職に関する講演会がありました。長崎県産業労働部の貞方学氏とソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの伊達雄治氏の２名の講師に、近年の長崎県内での就職に関する取組等について説明していただきました。自然減、社会減による長崎県の人口減少を食い止めるためのいくつかの具体策を聞き、県外への進学後に長崎に戻ってきて就職したいという生徒もいました。特に本校卒業生である伊達先生が地元で働くことのメリットについて話されているときの生徒の表情が印象的でした。

～部活動大会等結果報告～

＜射撃部＞

長崎県秋季ライフル射撃選手権大会

団体　男子　エアーライフル、ビームライフル　優勝
　　女子　エアーライフル、ビームライフル　２位

個人　エアーライフル男子　３位　木村　陽
　　女子　２位　尾崎咲幸
　　ビームライフル男子　１位　遠藤颯也
　　３位　才津若登
　　女子　３位　鴛﨑朱音
　　ビームピストル男子　１位　松崎優太
　　２位　斧口紘也
　　３位　梅嶋悠太

JOCジュニアオリンピックカップ

個人　ビームライフル男子　２位　毎田晴彦

＜水泳部＞

長崎県高等学校新人体育大会

男子総合　2位

男子　1500m自由形　3位　小森章寛
　　100m背泳ぎ　3位　石本勇真
　　200m背泳ぎ　3位　中村楽久
　　100mバタフライ　3位　植木　優
　　400mフリーリレー　2位　石本勇真　青木優也
　　吉田直生　宮本大資
　　400mメドレーリレー　2位　中村楽久　石本優資
　　植木　優　青木優也

女子　100m背泳ぎ　2位　内田　想
　　200m背泳ぎ　2位　内田　想
　　200m個人メドレー　3位　中村百花

第２回オープンスクールを開催！ 教務部 吉田 謙吾

９月８日（日）、文化祭と並行して第２回オープンスクールを開催しました。放送部制作の学校紹介ビデオ上映、教頭挨拶に引き続き、本校の教育活動や入試制度についての説明、５教科からの入試ワンポイントアドバイスを行いました。当日は残暑の中、３５０名を超える多くの中学３年生、保護者の方々の参加があり、学校からの説明に熱心に耳を傾けていただきました。記念館での全体会の後も、多くの方々に文化祭を自由見学していただきました。

参加者へのアンケート結果を見ても、生徒や校舎の明るい雰囲気を感じていただき、北高への興味・関心がますます高まった様子がうかがえました。今回参加した多くの生徒が、高い志を持って来春北高の門をくぐってくれることを期待しています。

１０月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	火	中間考査①② 学年末考査③	16	水	
2	水	進路講演会③	17	木	大学セミナー①②
3	木	火曜日の授業	18	金	
4	金		19	土	
5	土	特別授業③	20	日	
6	日		21	月	
7	月		22	火	即位礼正殿の儀
8	火		23	水	
9	水		24	木	
10	木		25	金	
11	金		26	土	大学別オープン③
12	土	進研記述③	27	日	大学別オープン③
13	日	進研記述③	28	月	
14	月	体育の日	29	火	
15	火	芸術鑑賞会	30	水	
			31	木	県高校駅伝壮行式

長崎県立長崎北高等学校

長崎市小江原1-1-1
電話　095 (844)5116
Fax　095 (844)5119

ホームページもご覧ください。
http://www.news.ed.jp/kita-h/

第１５巻　第５号
発行日　令和元年9月３０日

長崎県立長崎北高等学校

長崎北高ＮＥＷＳ　９月号

お礼：体育祭、文化祭には多くの保護者、地域の方々が足を運んでくださり、声援を送ってくださいました。ありがとうございました。

目次：

1P ・北高の児等へ
2P ・北高祭（体育祭）
3P ・北高祭（文化祭）
・北高祭表彰一覧
・県内就職講演会（3年）
4P ・部活動大会等結果報告
・第2回オープンスクール
・10月の行事予定

今月の北高Picture

体育祭
仮装パフォーマンス

文化祭
未成年の主張

海外語学研修報告会

北高の児等へ

「北高祭を終えて」

校長　　林田 誠一

白い足袋が砂に汚れる様を美しいと思ったことは、それまでありませんでした。小雨の中、プログラムをいくつか割愛して実施した９月１日（日）の体育祭のことです。グラウンドが改修されて水はけが良くなったお蔭もあり、雨の合間を縫って体育祭の華である「コッコデショ」が披露されました。澄んだ秋空に太鼓山が舞う光景を見ることはできませんでしたが、その代わり、生徒たちの履いている白い足袋がグラウンドの砂で汚れていく様を、生徒たちが無心で演技している証として、静かな感動とともに見守っている自分に出会うことができました。これは、私にとっての発見です。

３年生の仮装パフォーマンスで、生徒たちが何のてらいもなく自分を表現する姿を、とても眩しく感じました。それは、９月８日（日）に行われた文化祭で、２年生がクラス演劇を行っているときにも感じたことです。

人前で自分を表現することはとても勇気の要ることです。いろいろなことが邪魔をして、自分を素直に出せない。それは、誰しも同じでしょう。けれども、伝えたいという強い思いがあれば、そして、それを受け止めてくれるという仲間への信頼があれば、人は一歩を踏み出せるのです。

生徒たちにとって、北高祭（体育祭＆文化祭）がそのような機会となったことを嬉しく思います。

今年もたくさんの保護者や地域の方々が体育祭にも、文化祭にも足を運んでくださり、声援を送ってくださいました。また、準備の段階から多くの方に支えていただいたことに、心から感謝申し上げます。

これからも長崎北高は「成長する有機体」として様々な教育活動に精一杯取り組んでまいります。ますますのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。